



2024年2月20日

たてくるジオパーク

だより 第66号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階

TEL: 076-431-2089

FAX: 076-482-3204

MAIL: info@tatekuro.jp

HP: <https://tatekuro.jp/>



<https://facebook.com/tatekuro>

★「立山黒部ジオパーク写真展」について

「立山黒部ジオパーク写真展」を開催します！

会期 2024年3月1日(金)～3日(日) 午前9時30分～午後9時
(初日のみ午前10時～) (最終日のみ午後5時30分まで)

会場 黒部ショッピングセンター メルシー 1階特設会場(通路中央)

※全日とも午後5時30分まではご質問等にお答えする解説員がいます。

「高低差4000m ロマン」の
キャッチフレーズのもと、宝
ものであるジオ・自然・文化
の貴重なサイト～ジオ・エコ
ヒトのつながりの素晴らしさ
～を写真でご覧ください。

協力：黒部ショッピングセンター メルシー

後援：富山県 富山市 魚津市 滑川市

黒部市 舟橋村 上市町 立山町

入善町 朝日町

株式会社北日本新聞社 富山新聞社



【とうざわ印刷工業株式会社 提供】

—高低差4000mロマン—

入場無料！

3月のジオパーク散歩

第21回 [ジオパーク散歩 in 片貝] 〈林道には3月でも雪があり、クロカンスキーで不思議を体験〉

・日 時 3月10日(日) 8:40～12:30 (受付8:30～)

・集合場所 桃山運動公園駐車場

・見学場所 桃山運動公園でスキー・ストック・靴を借り、片貝第2発電所まで移動。山ノ守キャンプ場、鳶安橋など

・持ち物 動きやすい服装、サングラス、手袋、飲み物、雨具、アメやチョコレートなどオヤツ

・対象 高校生以上(子供用用具がないため、中学生以下は参加できません。)

・注意事項 スキー初心者でも大丈夫です。スノーシューやかんじきでは参加できません。

・申込期限 3月1日(金)



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



第18回JGN全国研修会 (2/7～2/9)

2月7～9日に「第18回JGN全国研修会 in 糸魚川」が新潟県糸魚川ジオパークで開催されました。この研修会には、全国から約60名が集まり、当協会からは専門員1名が参加しました。

研修会では、世界及び日本ジオパークネットワークで関心が高まる地質物品の保護と収集・販売について、糸魚川ジオパークにおける「ヒスイの取扱い」を例にして学びました。まず、糸魚川でのヒスイの取り扱いの基礎知識を共有しました。その中で、販売業者との意見交換の場が設定されており、地質物品に関わる現時点での課題を自分事としてとらえることができたと思います。その後、コンセプトマップという手法を使い、地質物品の今後の取り扱いの方向性や課題等について個人で考えを広げ練り上げる場やその考えを他人と交流させる場を通し、発展・深化させることができたように思います。最後には、地質物品に関わって思いが近い人でグループをつくり、その内でテーマを設定し、互いに意見を出し合ってグループとしての意見を練り上げ、発表するという活動を行いました。とても密度の濃い有意義な研修会だったと思います。特に、話し合いの中で「法整備」や「ガイドラインの見直し」等、今までの自分にはなかった視点を得ることや方向性を具体的に考えること等ができたと思っています。今後のジオパーク活動でも対話や議論をする中で、互いの思いや考えを共有し、よりよい方向性を探ることを大切にしていきたいと思いました。



2/9 JGN「地球時間の旅展」モニター展覧会

2月9日に新潟県糸魚川市のフォッサマグナミュージアムで、「地球時間の旅展モニター展覧会」が開催されました。この「地球時間の旅展」は、文化庁採択事業「ジオパークネットワークを活用した展示と地域を結ぶ博物館機能強化事業（地球時間の旅展）」として、2023年7月に開始したもので、全国のジオパークからメンバーを募って展示内容を検討しました。立山黒部ジオパーク協会からは國香研究教育部会長と黒部市吉田科学館の野寺学芸員が参画しました。今回は、ほぼ完成した展示物をモニター展示する機会を設け、全国のジオパークから参観者が集まりました。本事業では、全国のジオパーク・博物館から資試料を集結させて日本の大地の成り立ちをテーマとしたストーリーブックを作成し、大地の成り立ちを物語る標本と、関連したジオサイト・文化・食などをリンクさせた複合型デジタルアーカイブを作成します。これをもとに、巡回展示「地球時間の旅展」を作成し、全国巡回するというものです。展示内容は、次の4つのChapterに別れています。

- Chapter 1 ツナガル – 地域と地球、“今”を形作る“過去”との関係
- Chapter 2 カラフル – 目の前にある景色、それは“地質”の多様性
- Chapter 3 ツクル – “日本列島”を形作った地球の話
- Chapter 4 ツタエル – ジオパークは“未来”へ行動する

来年度より、全国のジオパーク内の博物館で巡回展示が行われます。立山黒部ジオパークで開催される詳細が決まりましたら、お知らせいたしますので楽しみにしてください。



2/3 ジオガイドスキルアップ研修



2月3日にジオガイドスキルアップ研修が行われました。第1部では、富山県防災士会の上田事務局長に講義していただきました。

まず、富山県防災士会の基礎情報から学びました。防災士会では、「防災意識の普及・啓発、防災まちづくり推進事業」「災害被災地への支援事業」「学校教育における防災・減災支援事業」などを行ってられます。

特に、「防災意識の普及・啓発、防災まちづくり推進事業」では、「地区防災計画策定支援」を行っています。地区防災計画とは、阪神淡路大震災や東日本大震災の教訓を踏まえて、2013年の災害対策基本法の改定により制度化されたものです。これにより、地区居住者等が地区防災計画（素案）を作成し、市町村防災会議に提案できるようになったとのことです。富山市内の地区を例にあげ、説明していただきました。最後に地震に備える三か条として、「グラっときたら、身の安全」（頭部の安全確保）、「寝ている間の安全確保」（家の耐震補強、家具等の転倒防止）、「もしものための非常持出し」の3つをあげていただきました。講義を受けたジオガイドからは、「防災士会の活動を理解できてよかった」や「避難所開設の初動の難しさを改めて知ることができた」との意見がありました。

第2部は、体験型学習施設「四季防災館」に移動し、応急手当体験や消火体験などを行いました。



たてくろ 見どころ紹介コーナー

東金屋たたら製鉄場跡（早月川エリア）

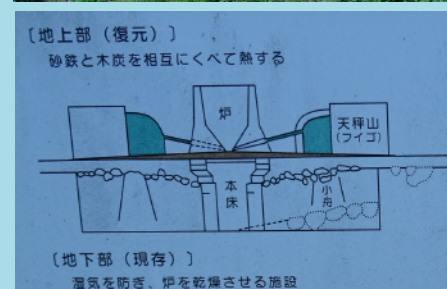
ー 海岸の砂鉄を使った製鉄場 ー

たたら製鉄とは、粘土で作った炉に砂鉄と木炭を入れ、ふいご（送風装置）を使って鉄を作る製鉄法で、一般的には中国山地がよく知られています。

滑川の売薬商が伯耆（ほうきの）国（くに）（鳥取県）を訪れた際に砂鉄から鉄を作っている様子を見かけました。そこで伯耆の職人を雇用し、現在の滑川市から富山市の岩瀬浜にかけて採取された砂鉄を使って製鉄を開始しました。文化4年（1807年）から文化8年までの5年間に鉋、鎌、包丁、小刀などが作られました。しかし、浜砂鉄であったことからあまり上質なものができず、操業は長く続かなかつたと言われています。

昭和48年（1973年）、圃場（水田や畑等）整備中に製鉄場の遺構が発見され発掘調査が行われました。地下構造が良好な状態で残り、また操業について記した史料も存在することから、昭和49年に滑川市指定文化財（史跡）に指定されました。

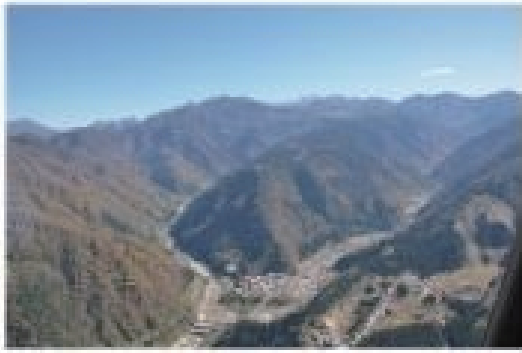
東金屋たたら製鉄場跡は、立山黒部ジオパークの文化サイトに登録されています。



富山市科学博物館

企画展

立山さんろく 自然の魅力



日本一の落差をもつ称名滝、「立山杉」の巨樹群を育む美女平、方位磁石が狂う尖山…。山岳観光地の立山は、山麓部の自然もまた豊かです。展示では、立山黒部アルペンルートに比べ、あまり知られていない自然観察場所とその魅力を紹介し、自然を感じる旅へと誘います。

期 日 2024年3月2日(土)～5月19日(日)

場 所 2階 特別展示室

その他 観覧料のみ必要(高校生以下無料)

<https://www.tsm.toyama.toyama.jp/>

黒部市吉田科学館

ジオ&みずはくツアー 第5回 扇状地の春を散策しよう(春の息吹を感じよう)

期日：2024年3月16日(土)

・時間及び発着場所

- ①富山駅北口 9時出発 16時頃解散
- ②富山地方鉄道新黒部駅 10時出発 15時頃解散

※出発時刻の10分前までに集合してください。

・料金：500円(資料代、保険料等) ※但し、小学生以下は無料

・申込：吉田科学館へ電話もしくは直接お申し込みください。

黒部市吉田科学館 ☎0765-57-0610

(受付時間 9:30～17:00 休館日を除く)

・予約受付期間：開催日の3日前まで受付

・定員：25名(先着順 小学3年生以下は保護者同伴)

※詳細は右のQRコードからHPをご覧ください。



<編集後記> 私たち富山県人が長い間信じて疑わなかった「富山は台風や地震の災害が少ない」という神話は、1月1日の能登半島地震以来、もろくも崩れ去ったと言っても過言ではありません。地震発生以来1か月半を過ぎようとしているのに、テレビや新聞では被災地の惨状を伝えています。また、DIY店等に行くと、防災コーナーが設置され、様々な防災用品が並んでおり、急激な防災意識が高まりを感じます。しかし、「具体的に何をすればよいか」については、まだまだはっきりしていません。ジオパークの役割が今まで以上に重要になっていますね。

立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援してくださる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会(076-431-2089)までお問い合わせください。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

